

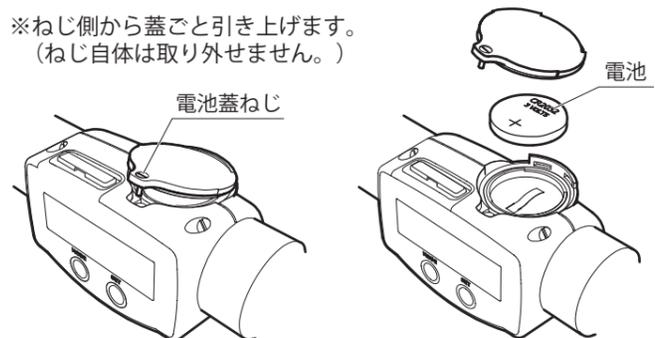
電池のセット・交換

- ①付属の⊖ドライバを使って電池蓋のねじを緩め、電池蓋を引き出します。
- ②電池蓋の表示に従い、電池の裏表を確認しセットしてください。
- ③電池蓋を元通りに装着してねじを締めてください。

※電池残量が残りわずかになると『』マークが表示されるので、電池を交換してください。
そのまま使用し続けると表示が安定しなくなり、正しい測定ができません。



※ねじ側から蓋ごと引き上げます。
(ねじ自体は取り外せません。)

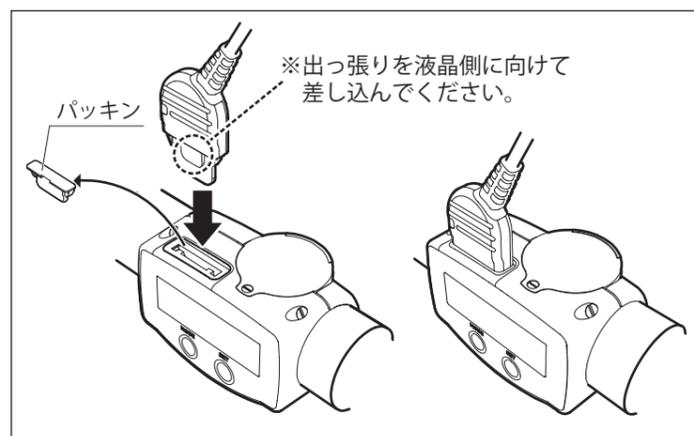
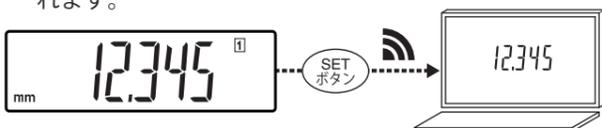


△ ご注意 電池は必ずCR2032をお使いください。

オプション：データ転送ケーブル接続方法

別売の転送ケーブルをご用意ください。

- ①データ出力口のパッキンを外し、DTC-1ケーブルを接続してください。
- ②測定画面表示時にSETボタンを押すと、データ送信マーク『』が表示され、データがパソコンに送信されます。



△ ご注意

- 被測定物、測定器の十分な温度慣らしを行ってから測定してください。
- ご使用前に、必ず測定子を含めた測定部を脱脂し、グラスペーパーなどで拭き取って汚れを除去してください。
- 直射日光の当たる場所や炎天下の車の中、火のそばなどでの使用、保管はしないでください。
- 測定範囲以上、以下にラチェットを回さないでください。
- 電池の交換を示す表示が出たら、速やかに電池を交換してください。使い続けると誤表示の原因となることがあります。
- 精密機器ですので、落としたりぶつかけたり、強い力を加えたりしないでください。
- 使用後は柔らかい布などでゴミや切粉などを取り除き、防錆油を塗布してお子様の手の届かない場所へ保管してください。
- 本体のお手入れに有機溶剤を使用しないでください。
- 分解・改造をしないでください。
- 長期間使用しない場合は電池を製品から取り外した状態で保管してください。電池を入れたまま放置すると、電池の液漏れの原因となります。
- 用途以外のご使用は、事故やけがの原因となりますので絶対におやめください。

デジタルSライン三点マイクロメータ

取扱説明書

品番：MCD-*****IP67S (兼用)

この度はデジタルSライン三点マイクロメータシリーズをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、本書をよくお読みいただき正しくお使いくださいようお願い申し上げます。基準のリングゲージは付属されておりませんので、原点の調整には測定範囲内のリングゲージをご用意ください。

特長

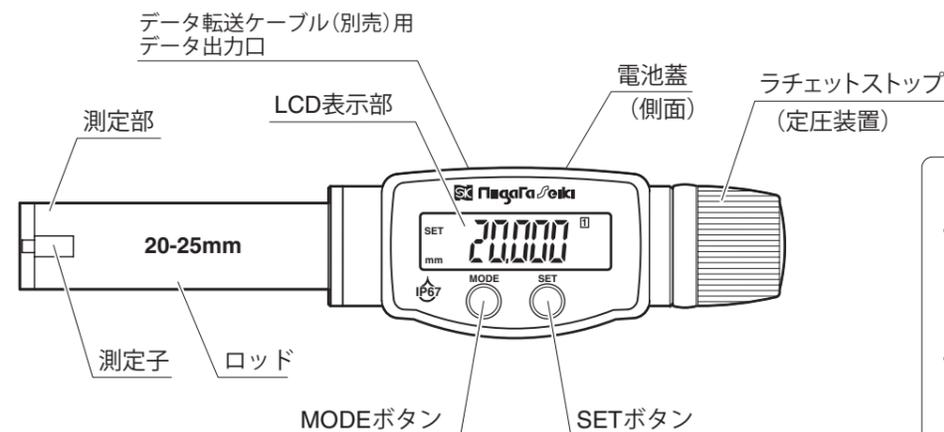
- デジタル表示で見やすく、読み取り間違いがありません。
- 内径を3点で測定するため、より精度の高い測定が可能です。
- 4つのプリセット値が設定可能
- オートディスプレイオフ機能付 (約4時間)
- データ出力が可能で測定データの管理がしやすくなります。
※データ出力には別売の『転送ケーブル (当社品番：DTC-1)』をご用意ください。

仕様

- 最小読取値：0.001mm
- 最大許容誤差：4μm
- 使用温度範囲：15～40℃
- 保管温度範囲：0～50℃
- 電子ユニット部：防水保護等級IP67仕様
- 電源：CR2032 (リチウム電池)
※テスト用1個付属

品番	測定範囲	測定子材質
MCD-0608IP67S	6 - 8 mm	合金工具鋼鋼材
MCD-0810IP67S	8 - 10 mm	
MCD-10125IP67S	10 - 12.5 mm	
MCD-12516IP67S	12.5 - 16 mm	超硬チップ
MCD-1620IP67S	16 - 20 mm	
MCD-2025IP67S	20 - 25 mm	
MCD-2535IP67S	25 - 35 mm	
MCD-3550IP67S	35 - 50 mm	

各部の名称

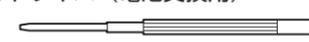


【付属品】

- CR2032 (リチウム電池)
※付属の電池はテスト用です。ご使用の際は新たにお買い求めください。



- ⊖ドライバ (電池交換用)



(リングゲージは付属しておりません。)

IP表示について

IPとはIEC60529規格に基づいて規定された固形異物、水に対する電気機器、キャビネットの保護等級表示です。

IP67

- 第2記号：防水保護の等級
- 第1記号：接触・固形異物侵入保護の等級

第1記号	記述	保護の程度	試験条件
6	耐じん形	粉じんが内部に侵入しない	粉じんの侵入が完全に防護されている
第2記号	記述	保護の程度	試験方法
7	水中に対する保護	規定の圧力、時間で水中に浸漬しても有害な影響を受けない	水深1m (機器の高さ850mmより低い場合) に30分間没する

新潟精機株式会社

〒955-0055 新潟県三条市塚野目5丁目3番14号
☎(0256)33-5502(代) FAX(0256)33-5528
URL <http://www.niigataseiki.co.jp>

2206

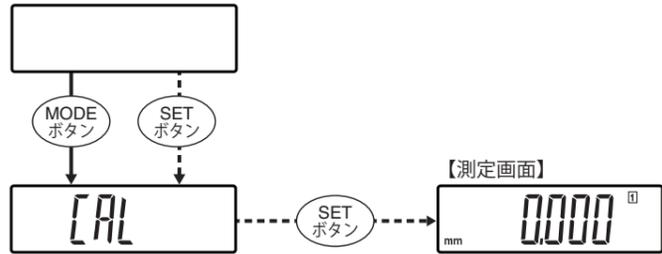
I319-K1

電源

【電源ON】

MODE・SETいずれかのボタンを押してCALの画面が出た後、SETボタンを押すと測定画面が表示され、電源がONになります。

【OFF画面】



【オートディスプレイオフ】

オートディスプレイオフモードが有効に設定されている場合、約4時間無操作状態が続くと、LCD表示部がOFFになります。MODE・SETいずれかのボタンを押すと再起動します。
(機能設定 5 オートディスプレイオフモード 参照)

【電源OFF・ディスプレイオフモード】

SETボタンを長押しするとディスプレイオフモードになり、更に長押しし続けると電源OFFになります。



SETボタン 長押し → ディスプレイオフモード

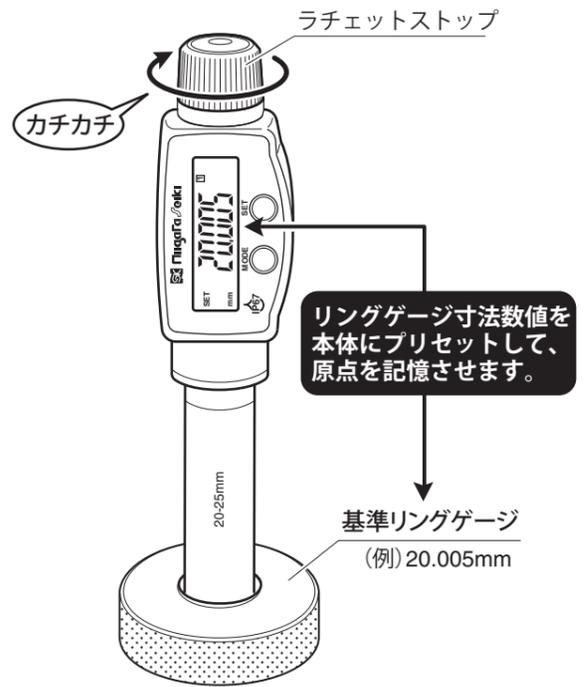
SETボタン 長押し → 電源OFF

※プリセット値の入力画面中はSETボタンを1秒以上長押ししてもディスプレイオフモード・電源OFFにはなりません。

原点の設定 ※測定範囲内のリングゲージをご用意ください。

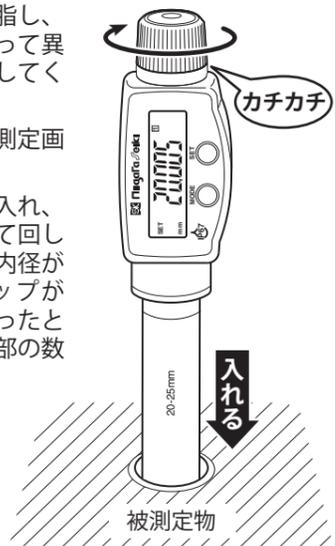
通常測定で使用する原点を設定します。この原点は電源をOFFにする、または電池の交換後にはリセットされますので、再度設定し直してください。

- 測定子を含めた測定部と、お手持ちの基準リングゲージの内径をパーツクリーナーなどの洗浄剤で洗浄します。
- 電源をONにして、リングゲージの寸法を本体にプリセットします。
(機能設定 3 プリセット設定モード 参照)
- 測定部をリングゲージの内径に入れ、ラチェットストップを回します。測定子とリングゲージの内径が接触し、ラチェットストップが『カチカチ』と1～3回鳴ったところで停止してください。
- MODEボタンを押して、SETモードにします。SETボタンを押してプリセットした数値を呼び出して、原点のセットは完了です。
ワークの測定を開始してください。



使用方法

- 測定子を含めた測定部を脱脂し、グラスペーパーなどで拭き取って異物が付着していない状態にしてください。
- 電源を入れてLCD表示部に測定画面を表示してください。
- 測定部を被測定物の内側に入れ、ラチェットストップを持って回します。測定子と被測定物の内径が接触し、ラチェットストップが『カチカチ』と1～3回鳴ったところで停止して、LCD表示部の数値を読み取ってください。



機能設定

【測定画面】



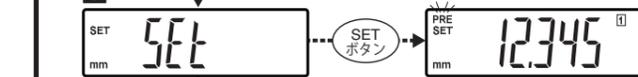
【モードの切替】

測定画面からMODEボタンを押す、または長押しすると1～6の設定画面が表示が切り替り、各種機能が設定できます。

※MODEボタン操作中に5秒間無操作状態が続くと、測定モードへ戻ります。

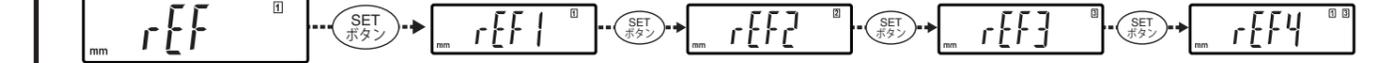
1 SETモード

SETモードでSETボタンを押すと『PRE』と『SET』マークが点灯し、プリセット設定モードで設定した数値を呼び出します。



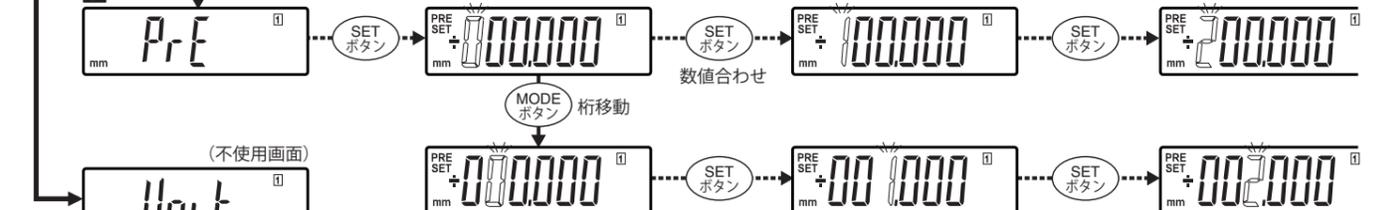
2 リファレンス設定モード

プリセット値の設定呼び出しの番号を1～4から選択できます。SETボタンを押して、どのリファレンス番号に設定するか選択し、MODEボタンで確定させます。



3 プリセット設定モード

測定画面で呼び出すことができる、任意の数値を設定します。MODEボタンを押して数字の点滅を設定したい桁へ移動し、SETボタンで数値を合わせてください。MODEボタンの長押しで確定させます。
※プリセットモード設定中に15秒間無操作状態が続くとエラーになります。



4 分解能変更モード

SETボタンを押して、表示を0.001単位/0.01単位に切り替えることができます。MODEボタンで決定します。



5 オートディスプレイオフモード

オートディスプレイオフ機能の有効/無効を切り替えることができます。MODEボタンで決定します。有効の場合に約4時間無操作状態が続くと、LCD表示部がOFFになります。



6 HOLDモード

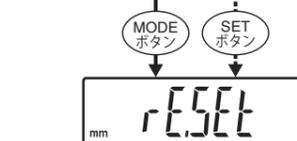
ホールド機能の有効/無効を切り替えることができます。SETボタンを押してON/OFFを選択してください。MODEボタンで決定します。



ONの場合は測定時SETボタンを押すと、『H』と表示され、数値が固定されます。再度SETボタンを押すと、固定が解除されます。
※SETモードがONの時、測定画面でSETボタンを押してもホールド機能は使えません。

設定値リセット機能

MODEボタンとSETボタンを同時に5秒以上長押しで、プリセット設定などユーザーが設定した情報を初期値に戻します。



トラブルと対応

トラブルの内容	対応策
測定値が間違っている	<ul style="list-style-type: none"> ●原点が合っているか確認し、設定し直してください。 ●測定面の汚れをグラスペーパーなどで拭き取ってください。
<ul style="list-style-type: none"> ●LCD表示部に何も表示されない ●表示が安定しない ●表示が不明確である 	<ul style="list-style-type: none"> ●電池を入れ直してください。 ●新しい電池と交換してください。 ●電池蓋の端子に折れがないことを確認してください。
測定子が戻らない	<ul style="list-style-type: none"> ●低温で使用したり、しばらく使用していないと、内部のグリスが馴染んでいない可能性があります。十分な温度慣らしを行ってください。 ●手袋等を着用し、手で押し込んでください。
LCD表示部に「ERR 0」の表示が出た	●センサー読み取りエラーです。原点を設定し直してください。
LCD表示部に「ERR 6」の表示が出た	●発振回路エラーです。電池を入れ直してください。
LCD表示部に「ERR 8」の表示が出た	●メモリエラーです。電池を入れ直してください。
LCD表示部に「ERR 9」の表示が出た	●お買い上げの販売店、または当社までご連絡ください。

※症状が改善されない場合や不明な点がございましたらお買い上げの販売店、または当社までご連絡ください。
※お問い合わせや、ご連絡が無いまま直接修理品などを送付されても処理、対応ができない場合がありますのでご了承ください。